



アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース毎月決算型 (為替ヘッジあり) 予想分配金提示型 アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型

追加型投信／海外／株式

第70期(決算日2020年7月15日) 第71期(決算日2020年8月17日) 第72期(決算日2020年9月15日)
第73期(決算日2020年10月15日) 第74期(決算日2020年11月16日) 第75期(決算日2020年12月15日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

	Cコース毎月決算型 (為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	Dコース毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2034年6月15日まで(信託設定日:2014年9月16日)	
運用方針	アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。 ①米国を本拠地とする企業が発行する普通株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。 ②企業のファンダメンタルズ分析と株価バリュエーションに基づく銘柄選択を基本としてアクティブ運用を行います。	
	実質外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動のリスクの低減を図ります。	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主運用対象	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	主としてアライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド受益証券に投資します。
	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	
	アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド	米国を本拠地とする企業が発行する普通株式を主要投資対象とします。
組入制限	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	①株式への実質投資割合は、制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	
	アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド	①株式への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎月決算を行い、原則として毎決算時に、以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配可能額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保金の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型」「アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型」は、このたび第75期の決算を行いました。

ここに、第70期から第75期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

Cコース毎月決算型（為替ヘッジあり）予想分配金提示型

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			ベンチマーク		株 式 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 騰 落	中 率			
	円	円	円	%		%	%	%	百万円
46期(2018年7月17日)	11,019	200		1.0	14,781	0.5	90.7	—	103,832
47期(2018年8月15日)	10,902	100		△ 0.2	14,993	1.4	88.1	—	119,955
48期(2018年9月18日)	10,792	200		0.8	15,250	1.7	91.2	—	132,489
49期(2018年10月15日)	10,293	0		△ 4.6	14,598	△ 4.3	87.5	—	134,860
50期(2018年11月15日)	9,996	100		△ 1.9	14,247	△ 2.4	90.9	—	133,126
51期(2018年12月17日)	9,734	0		△ 2.6	13,709	△ 3.8	90.7	—	129,935
52期(2019年1月15日)	9,723	0		△ 0.1	13,606	△ 0.8	88.0	—	128,639
53期(2019年2月15日)	10,408	100		8.1	14,457	6.3	92.0	—	136,172
54期(2019年3月15日)	10,551	100		2.3	14,785	2.3	92.7	—	136,068
55期(2019年4月15日)	10,735	100		2.7	15,291	3.4	92.1	—	136,087
56期(2019年5月15日)	10,303	100		△ 3.1	14,895	△ 2.6	90.8	—	130,208
57期(2019年6月17日)	10,431	100		2.2	15,170	1.8	89.6	—	132,333
58期(2019年7月16日)	10,828	100		4.8	15,825	4.3	89.9	—	139,028
59期(2019年8月15日)	10,228	100		△ 4.6	14,907	△ 5.8	89.9	—	134,120
60期(2019年9月17日)	10,432	100		3.0	15,731	5.5	91.0	—	140,783
61期(2019年10月15日)	10,301	100		△ 0.3	15,556	△ 1.1	91.1	—	145,073
62期(2019年11月15日)	10,581	100		3.7	16,235	4.4	89.0	—	153,588
63期(2019年12月16日)	10,804	100		3.1	16,616	2.3	90.4	—	162,981
64期(2020年1月15日)	11,055	200		4.2	17,210	3.6	91.9	—	171,699
65期(2020年2月17日)	11,261	200		3.7	17,715	2.9	89.9	—	184,604
66期(2020年3月16日)	9,632	0		△14.5	14,217	△19.7	92.9	—	164,196
67期(2020年4月15日)	10,364	0		7.6	14,929	5.0	94.1	—	177,509
68期(2020年5月15日)	10,786	100		5.0	14,967	0.3	93.9	—	186,602
69期(2020年6月15日)	11,219	200		5.9	15,976	6.7	89.4	—	200,209
70期(2020年7月15日)	11,723	200		6.3	16,812	5.2	88.8	—	223,656
71期(2020年8月17日)	11,945	300		4.5	17,752	5.6	90.7	—	243,088
72期(2020年9月15日)	11,724	200		△ 0.2	17,833	0.5	91.2	—	259,186
73期(2020年10月15日)	11,970	300		4.7	18,404	3.2	91.5	—	283,490
74期(2020年11月16日)	11,835	200		0.5	18,933	2.9	91.5	—	306,854
75期(2020年12月15日)	11,765	300		1.9	19,287	1.9	92.0	—	333,557

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

※ベンチマークについて

当ファンドのベンチマークは「S & P500株価指数(配当金込み、円ヘッジベース)」です。「S & P500株価指数(配当金込み、円ヘッジベース)」は、「S & P500株価指数(配当金込み、米ドルベース)」から為替ヘッジコストを控除した数値であり、ここでは当初設定日前日(2014年9月15日)を10,000として指数化しております。

当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		株組入比率	株先物比率
		円	騰落率		騰落率		
第70期	(期首) 2020年6月15日	11,219	—	15,976	—	89.4	—
	6月末	11,385	1.5	16,044	0.4	88.3	—
	(期末) 2020年7月15日	11,923	6.3	16,812	5.2	88.8	—
第71期	(期首) 2020年7月15日	11,723	—	16,812	—	88.8	—
	7月末	12,000	2.4	17,072	1.5	87.9	—
	(期末) 2020年8月17日	12,245	4.5	17,752	5.6	90.7	—
第72期	(期首) 2020年8月17日	11,945	—	17,752	—	90.7	—
	8月末	12,466	4.4	18,474	4.1	89.7	—
	(期末) 2020年9月15日	11,924	△0.2	17,833	0.5	91.2	—
第73期	(期首) 2020年9月15日	11,724	—	17,833	—	91.2	—
	9月末	11,701	△0.2	17,585	△1.4	91.0	—
	(期末) 2020年10月15日	12,270	4.7	18,404	3.2	91.5	—
第74期	(期首) 2020年10月15日	11,970	—	18,404	—	91.5	—
	10月末	11,429	△4.5	17,465	△5.1	89.3	—
	(期末) 2020年11月16日	12,035	0.5	18,933	2.9	91.5	—
第75期	(期首) 2020年11月16日	11,835	—	18,933	—	91.5	—
	11月末	11,985	1.3	19,225	1.5	91.4	—
	(期末) 2020年12月15日	12,065	1.9	19,287	1.9	92.0	—

(注) 各期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

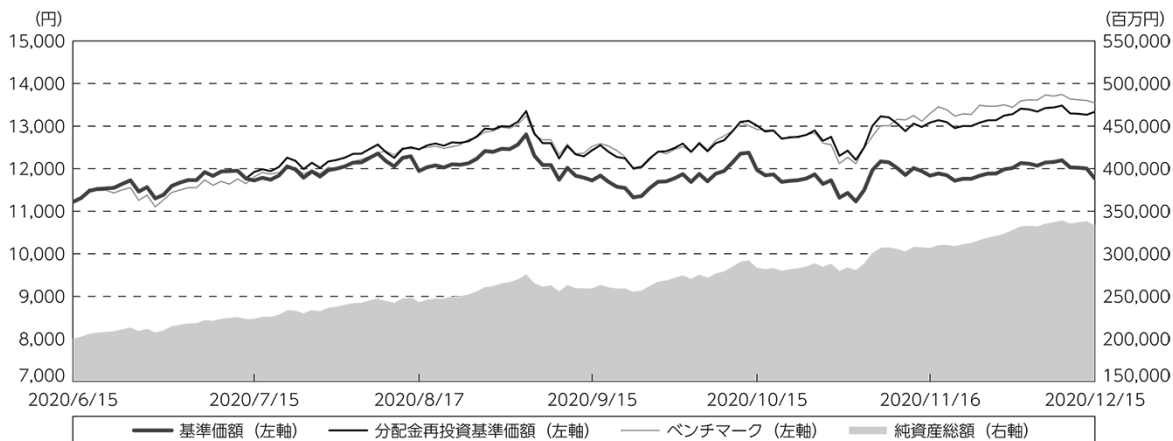
(注) 月末は、各月の最終営業日です。

運用経過

アラライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース毎月決算型（為替ヘッジあり）予想分配金提示型（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

作成期間中の基準価額等の推移

（2020年6月16日～2020年12月15日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首（2020年6月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) ベンチマークは、S & P 500株価指数（配当金込み、円ヘッジベース）です。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前作成期末比+18.9%※と、ベンチマークであるS & P 500株価指数（配当金込み、円ヘッジベース）の同+20.7%を下回るパフォーマンスとなりました。

※基準価額の騰落率は、各決算期末の税込み分配金を当概決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の変動要因

上昇要因

保有する情報技術関連銘柄やコミュニケーション・サービス関連銘柄、一般消費財・サービス関連銘柄などの株価上昇

下落要因

保有するヘルスケア関連の一部の銘柄の株価下落

投資環境

(2020年6月16日～2020年12月15日)

当作成期の米国株式市場は、前作成期末比で上昇しました。

当作成期初は、新型コロナウイルスの感染拡大第2波を巡る懸念から下落しましたが、その後2020年8月末にかけては、追加の新型コロナウイルス経済対策への期待や米国企業の好決算、米連邦準備理事会（FRB）の長期にわたる金融緩和姿勢などが好感され、上昇基調で推移しました。しかし9月に入ると、高値警戒感からハイテク株中心に売られたことや、都市封鎖の再導入や高止まりする新規失業保険申請件数などが嫌気され、大幅な下落となりました。9月下旬以降は、追加の新型コロナウイルス経済対策導入への期待感から反発したものの、10月中旬以降は、大統領選挙への不透明感が高まる中、追加経済対策実現観測が後退したことや、欧米での新型コロナウイルス感染再拡大が嫌気され、再び下落しました。しかし11月に入り、大統領選挙でのバイデン氏優勢が好感されたことや、米製薬大手が開発を進める新型コロナウイルスワクチンで9割超の有効性が確認されたとの報道を受け、株式市場は大きく反発し、当作成期末にかけても上昇基調で推移しました。

運用概況

（2020年6月16日～2020年12月15日）

<当ファンド>

当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。） 受益証券への投資を通じて、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式へ投資することにより、信託財産の成長を目指します。

当ファンドは、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

<マザーファンド>

ボトムアップによるファンダメンタル分析を行い、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄を厳選します。運用にあたっては、利益成長や高い収益性など、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

その結果、セクター配分においては、情報技術セクターやコミュニケーション・サービス・セクターの組入比率が上昇した一方、ヘルスケア・セクターや一般消費財・サービス・セクターの組入比率が低下しました。

<マザーファンドのセクター別組入比率>

前作成期末（2020年6月15日現在）

セクター	比率
情報技術	27.6%
ヘルスケア	24.0%
コミュニケーション・サービス	14.8%
一般消費財・サービス	14.1%
生活必需品	5.3%
その他	6.3%
現金等	7.8%



当作成期末（2020年12月15日現在）

セクター	比率
情報技術	29.7%
ヘルスケア	22.8%
コミュニケーション・サービス	15.3%
一般消費財・サービス	13.1%
生活必需品	5.3%
その他	5.9%
現金等	7.9%

（注）組入比率はアライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。

個別銘柄では、フォーティネットを新規に組み入れました。インターネットゲートウェイに必要なセキュリティ管理ツールを提供する会社については、長期的な成長への確信度が増えています。また、マイクロソフトを買い増しました。新型コロナウイルスの影響で在宅勤務ニーズが高まる中、同社が推進するデジタルトランスフォーメーション（デジタル化に対応するための変革）を高く評価しています。さらに、コミュニケーション・サービス・セクター全体の株価調整で割安感が高まったと判断したアルファベットも買い増しました。

一方、ストライカーを全て売却しました。ロボット式整形外科システムなど特殊な手術用および医療製品の開発・製造・販売会社である同社は、同業他社の買収によりファンダメンタルズ悪化の懸念が高まったことや、新型コロナウイルスの影響による需要低迷を受けていることを勘案しました。スラック・テクノロジーも全て売却しました。ビジネス用のチャットツールを提供する会社は、CRM（顧客管理）ソフトウェア会社のセールスフォース・ドットコムによる買収報道を受けて、株価が大幅に上昇したことから利益を確定しました。

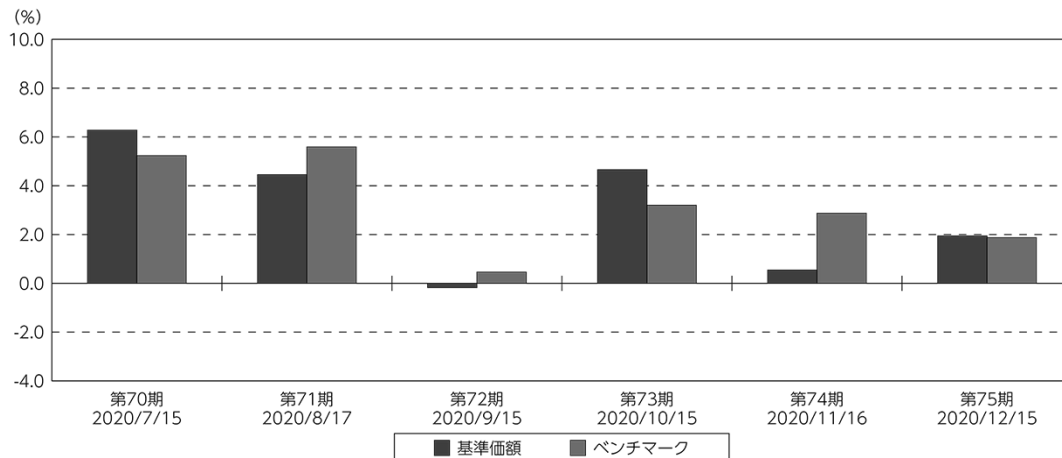
株式の組入比率は当作成期間を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年6月16日～2020年12月15日）

ベンチマークとの比較では、ヘルスケア・セクターのオーバーウェイト、資本財・サービス・セクターおよび情報技術セクターにおける銘柄選択が主なマイナス要因となりました。一方、ヘルスケア・セクターにおける銘柄選択や、公益事業セクターおよび不動産セクターを保有していなかったことなどはプラス寄与となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、S & P500株価指数（配当金込み、円ヘッジベース）です。

分配金

(2020年6月16日～2020年12月15日)

当作成期間の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定しました。各決算期の分配金については、以下をご覧ください（当作成期間合計：1,500円）。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期
	2020年6月16日～ 2020年7月15日	2020年7月16日～ 2020年8月17日	2020年8月18日～ 2020年9月15日	2020年9月16日～ 2020年10月15日	2020年10月16日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月15日
当期分配金	200	300	200	300	200	300
(対基準価額比率)	1.677%	2.450%	1.677%	2.445%	1.662%	2.487%
当期の収益	200	300	—	300	84	218
当期の収益以外	—	—	200	—	115	81
翌期繰越分配対象額	1,951	2,152	1,952	2,159	2,045	1,964

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

米国株式市場は、当面はボラティリティが高まる可能性があると考えていますが、新型コロナウイルスの影響が徐々に収束に向かえば、ペントアップディマンド（繰り返し需要）や、矢継ぎ早に打ち出される財政政策、緩和的な金融政策などにより、経済の回復が見込まれます。また、2021年以降は、増益基調に回復すると予想されている企業業績も株式市場の下支えになると考えます。

そうした環境下、マザーファンドでは、“持続的な成長企業”を組み入れることで、下落相場でも強い耐性を発揮し、長期的に市場をアウトパフォーム出来るようなポートフォリオ構築に注力しています。引き続き安定した収益性の高さを維持するとともに、総資産利益率や予想利益成長率が高く、長期的成長が期待される企業に注目してまいります。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2020年6月16日～2020年12月15日)

項 目	第70期～第75期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	102	0.866	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(49)	(0.414)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(49)	(0.414)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.039)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(0)	(0.003)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	0	0.004	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合 計	102	0.873	
作成期間中の平均基準価額は、11,827円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

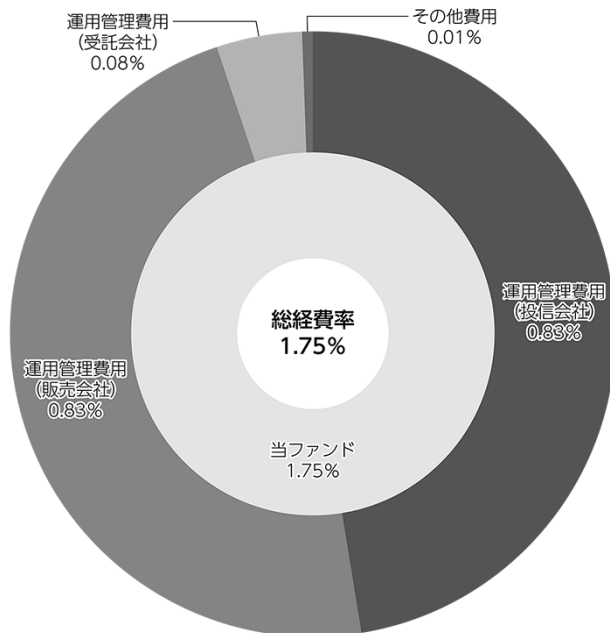
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成対象期間の平均受益権口数に作成対象期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年6月16日～2020年12月15日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第70期～第75期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド	31,631,750	148,613,104	10,224,791	48,733,224

（注）単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

（2020年6月16日～2020年12月15日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第70期～第75期	
	アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	419,832,675千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	988,715,157千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.42	

（注）株式売買金額は、受け渡し代金。

（注）平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2020年6月16日～2020年12月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年12月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第69期末		第75期末	
		口	数	口	数
			千口	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド		46,075,564		67,482,523	333,167,968

(注) 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年12月15日現在)

項	目	第75期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド		333,167,968	97.1
コール・ローン等、その他		9,793,900	2.9
投資信託財産総額		342,961,868	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドにおいて、第75期末における外貨建純資産（1,327,803,335千円）の投資信託財産総額（1,352,956,515千円）に対する比率は98.1%です。

(注) 外貨建資産は、第75期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=104.12円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第70期末	第71期末	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末
	2020年7月15日現在	2020年8月17日現在	2020年9月15日現在	2020年10月15日現在	2020年11月16日現在	2020年12月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	448,025,395,251	490,124,552,684	532,629,284,979	563,255,559,791	623,274,247,036	684,890,762,895
コール・ローン等	10,000	3,853,890,783	495,648,216	10,000	10,000	823,096,433
アライアンス・バーンスタイン・米国大型 グロース株マザーファンド(評価額)	221,336,688,787	241,878,294,616	255,647,442,250	281,683,432,985	308,482,469,405	333,167,968,420
未収入金	226,688,696,464	244,392,367,285	276,486,194,513	281,572,116,806	314,791,767,631	350,899,698,042
(B) 負債	224,368,651,562	247,036,061,499	273,442,653,940	279,764,826,097	316,419,618,188	351,333,705,815
未払金	219,936,438,150	240,239,099,144	268,175,346,116	272,086,335,688	310,432,530,187	342,179,959,151
未払収益分配金	3,815,554,828	6,105,410,406	4,421,552,438	7,105,262,186	5,185,359,416	8,505,665,288
未払解約金	311,669,076	319,542,225	490,294,711	191,089,931	359,471,185	202,585,983
未払信託報酬	304,284,749	371,141,667	354,638,001	381,255,256	441,235,441	444,849,637
未払利息	—	8,446	1,290	—	—	1,804
その他未払費用	704,759	859,611	821,384	883,036	1,021,959	643,952
(C) 純資産総額(A－B)	223,656,743,689	243,088,491,185	259,186,631,039	283,490,733,694	306,854,628,848	333,557,057,080
元本	190,777,741,426	203,513,680,231	221,077,621,939	236,842,072,885	259,267,970,814	283,522,176,290
次期繰越損益金	32,879,002,263	39,574,810,954	38,109,009,100	46,648,660,809	47,586,658,034	50,034,880,790
(D) 受益権総口数	190,777,741,426口	203,513,680,231口	221,077,621,939口	236,842,072,885口	259,267,970,814口	283,522,176,290口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,723円	11,945円	11,724円	11,970円	11,835円	11,765円

(注) 第70期首元本額178,453,186,211円、第70～75期中追加設定元本額121,332,938,280円、第70～75期中一部解約元本額16,263,948,201円。
第75期末現在における1口当たり純資産額1,1765円。

○損益の状況

項 目	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期
	2020年6月16日～ 2020年7月15日	2020年7月16日～ 2020年8月17日	2020年8月18日～ 2020年9月15日	2020年9月16日～ 2020年10月15日	2020年10月16日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 25,410	△ 61,378	△ 18,062	△ 14,723	△ 32,580	△ 19,789
支払利息	△ 25,410	△ 61,378	△ 18,062	△ 14,723	△ 32,580	△ 19,789
(B) 有価証券売買損益	13,098,342,278	10,562,933,325	△ 512,013,372	13,251,039,013	2,643,197,274	6,637,001,784
売買益	17,706,841,312	13,714,943,632	3,704,492,635	14,673,643,881	8,501,933,268	9,161,957,059
売買損	△ 4,608,499,034	△ 3,152,010,307	△ 4,216,506,007	△ 1,422,604,868	△ 5,858,735,994	△ 2,524,955,275
(C) 信託報酬等	△ 304,989,508	△ 372,001,278	△ 355,465,325	△ 382,138,292	△ 442,257,400	△ 445,493,589
(D) 当期損益金 (A+B+C)	12,793,327,360	10,190,870,669	△ 867,496,759	12,868,885,998	2,200,907,294	6,191,488,406
(E) 前期繰越損益金	10,752,312,375	19,440,792,719	23,290,083,220	17,867,765,103	23,285,381,016	20,139,564,090
(F) 追加信託差損益金	13,148,917,356	16,048,557,972	20,107,975,077	23,017,271,894	27,285,729,140	32,209,493,582
(配当等相当額)	(17,503,278,797)	(20,280,579,039)	(24,299,712,219)	(27,525,488,327)	(32,716,003,604)	(37,841,654,103)
(売買損益相当額)	(△ 4,354,361,441)	(△ 4,232,021,067)	(△ 4,191,737,142)	(△ 4,508,216,433)	(△ 5,430,274,464)	(△ 5,632,160,521)
(G) 計 (D+E+F)	36,694,557,091	45,680,221,360	42,530,561,538	53,753,922,995	52,772,017,450	58,540,546,078
(H) 収益分配金	△ 3,815,554,828	△ 6,105,410,406	△ 4,421,552,438	△ 7,105,262,186	△ 5,185,359,416	△ 8,505,665,288
次期繰越損益金 (G+H)	32,879,002,263	39,574,810,954	38,109,009,100	46,648,660,809	47,586,658,034	50,034,880,790
追加信託差損益金	13,148,917,356	16,048,557,972	20,107,975,077	23,017,271,894	27,285,729,140	32,209,493,582
(配当等相当額)	(17,505,550,178)	(20,282,700,344)	(24,307,048,251)	(27,526,045,838)	(32,720,238,658)	(37,862,113,818)
(売買損益相当額)	(△ 4,356,632,822)	(△ 4,234,142,372)	(△ 4,199,073,174)	(△ 4,508,773,944)	(△ 5,434,509,518)	(△ 5,652,620,236)
分配準備積立金	19,730,084,907	23,526,252,982	18,868,530,782	23,631,388,915	20,300,928,894	17,825,387,208
繰越損益金	-	-	△ 867,496,759	-	-	-

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第70期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (50,723,328円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (12,742,604,032円)、収益調整金額 (17,505,550,178円) および分配準備積立金額 (10,752,312,375円) より分配対象収益額は41,051,189,913円 (10,000口当たり2,151円) であり、うち3,815,554,828円 (10,000口当たり200円) を分配金額としております。

(注) 第71期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (53,505,125円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (10,137,365,544円)、収益調整金額 (20,282,700,344円) および分配準備積立金額 (19,440,792,719円) より分配対象収益額は49,914,363,732円 (10,000口当たり2,452円) であり、うち6,105,410,406円 (10,000口当たり300円) を分配金額としております。

(注) 第72期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (0円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (24,307,048,251円) および分配準備積立金額 (23,290,083,220円) より分配対象収益額は47,597,131,471円 (10,000口当たり2,152円) であり、うち4,421,552,438円 (10,000口当たり200円) を分配金額としております。

(注) 第73期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (14,335,901円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (11,993,475,765円)、収益調整金額 (27,526,045,838円) および分配準備積立金額 (18,728,839,435円) より分配対象収益額は58,262,696,939円 (10,000口当たり2,459円) であり、うち7,105,262,186円 (10,000口当たり300円) を分配金額としております。

(注) 第74期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (70,504,658円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (2,130,402,636円)、収益調整金額 (32,720,238,658円) および分配準備積立金額 (23,285,381,016円) より分配対象収益額は58,206,526,968円 (10,000口当たり2,245円) であり、うち5,185,359,416円 (10,000口当たり200円) を分配金額としております。

(注) 第75期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (376,871,096円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (5,814,617,310円)、収益調整金額 (37,862,113,818円) および分配準備積立金額 (20,139,564,090円) より分配対象収益額は64,193,166,314円 (10,000口当たり2,264円) であり、うち8,505,665,288円 (10,000口当たり300円) を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期
1万口当たり分配金（税込み）	200円	300円	200円	300円	200円	300円

★分配金の内訳、税金の取扱いは以下のとおりです。（各決算期ごとに計算されます。）

◇課税上の取扱い

①分配金の課税について

- ・分配金は「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に区分され、普通分配金に課税されます。
- ・分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本と同額または受益者の個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。ただし分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回り、かつ分配金と分配落ち後の基準価額を加えたものが受益者の個別元本と同額か下回る場合には、分配金の全額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

②個人の課税上の取扱い

- ・元本払戻金（特別分配金）：元本払戻金（特別分配金）は、お客様の取得元本の一部の払い戻しに当たるため、課税されません。
- ・普通分配金：個人の受益者の源泉徴収時には、配当所得として以下のように課税されます。
20.315%（所得税15.315%、地方税5%）
※法人の場合は上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。詳しくは販売会社へお問い合わせください。

※外国税額控除の適用となった場合には、普通分配金から源泉徴収される税額が上記と異なる場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご相談されることをお勧めします。

Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			ベンチマーク		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配 金	期 騰 落 率	期 騰 落 率	中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円	
46期(2018年7月17日)	11,348	200	2.7	16,015	2.3	88.8	—	181,974	
47期(2018年8月15日)	11,045	200	△ 0.9	16,125	0.7	88.6	—	201,426	
48期(2018年9月18日)	11,005	200	1.4	16,502	2.3	90.2	—	231,292	
49期(2018年10月15日)	10,448	100	△ 4.2	15,853	△ 3.9	89.3	—	243,065	
50期(2018年11月15日)	10,311	100	△ 0.4	15,730	△ 0.8	90.9	—	255,542	
51期(2018年12月17日)	9,952	100	△ 2.5	15,144	△ 3.7	91.2	—	256,340	
52期(2019年1月15日)	9,543	0	△ 4.1	14,392	△ 5.0	91.8	—	247,871	
53期(2019年2月15日)	10,432	100	10.4	15,618	8.5	91.6	—	269,930	
54期(2019年3月15日)	10,736	100	3.9	16,224	3.9	91.5	—	277,071	
55期(2019年4月15日)	10,856	200	3.0	16,829	3.7	92.4	—	282,383	
56期(2019年5月15日)	10,222	100	△ 4.9	16,079	△ 4.5	91.1	—	271,884	
57期(2019年6月17日)	10,289	100	1.6	16,272	1.2	90.3	—	282,420	
58期(2019年7月16日)	10,642	100	4.4	16,902	3.9	90.6	—	299,347	
59期(2019年8月15日)	9,893	100	△ 6.1	15,671	△ 7.3	89.7	—	284,677	
60期(2019年9月17日)	10,312	100	5.2	16,909	7.9	90.8	—	307,688	
61期(2019年10月15日)	10,222	100	0.1	16,784	△ 0.7	90.3	—	311,972	
62期(2019年11月15日)	10,534	100	4.0	17,583	4.8	89.5	—	331,106	
63期(2019年12月16日)	10,851	100	4.0	18,162	3.3	89.7	—	355,303	
64期(2020年1月15日)	11,177	200	4.8	18,933	4.2	90.6	—	380,582	
65期(2020年2月17日)	11,386	200	3.7	19,497	3.0	90.0	—	418,517	
66期(2020年3月16日)	9,438	0	△ 17.1	15,255	△ 21.8	91.3	—	370,684	
67期(2020年4月15日)	10,184	0	7.9	16,081	5.4	95.2	—	403,859	
68期(2020年5月15日)	10,638	100	5.4	16,180	0.6	93.0	—	426,276	
69期(2020年6月15日)	11,019	200	5.5	17,254	6.6	91.4	—	453,655	
70期(2020年7月15日)	11,540	200	6.5	18,173	5.3	88.9	—	503,757	
71期(2020年8月17日)	11,682	300	3.8	19,062	4.9	91.2	—	536,541	
72期(2020年9月15日)	11,377	200	△ 0.9	19,009	△ 0.3	91.6	—	559,824	
73期(2020年10月15日)	11,664	200	4.3	19,533	2.8	91.3	—	611,348	
74期(2020年11月16日)	11,481	200	0.1	19,990	2.3	90.2	—	640,069	
75期(2020年12月15日)	11,445	200	1.4	20,259	1.3	91.3	—	674,664	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

※ベンチマークについて
 当ファンドのベンチマークは「S & P500株価指数(配当金込み、円ベース)」です。「S & P500株価指数(配当金込み、円ベース)」は、原則として基準価額計算日前日付の「S & P500株価指数(配当金込み、米ドルベース)」の値を、計算日付の円ドル・レート(株式会社三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値)で邦貨換算したものです。ここでは、当初設定日前日(2014年9月15日)を10,000として指数化しております。
 当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		株組入比率	株先物比率
		円	騰落率		騰落率		
第70期	(期首) 2020年6月15日	11,019	—	17,254	—	91.4	—
	6月末	11,239	2.0	17,411	0.9	89.7	—
	(期末) 2020年7月15日	11,740	6.5	18,173	5.3	88.9	—
第71期	(期首) 2020年7月15日	11,540	—	18,173	—	88.9	—
	7月末	11,526	△0.1	17,993	△1.0	90.3	—
	(期末) 2020年8月17日	11,982	3.8	19,062	4.9	91.2	—
第72期	(期首) 2020年8月17日	11,682	—	19,062	—	91.2	—
	8月末	12,057	3.2	19,619	2.9	89.8	—
	(期末) 2020年9月15日	11,577	△0.9	19,009	△0.3	91.6	—
第73期	(期首) 2020年9月15日	11,377	—	19,009	—	91.6	—
	9月末	11,366	△0.1	18,757	△1.3	91.3	—
	(期末) 2020年10月15日	11,864	4.3	19,533	2.8	91.3	—
第74期	(期首) 2020年10月15日	11,664	—	19,533	—	91.3	—
	10月末	11,065	△5.1	18,422	△5.7	90.4	—
	(期末) 2020年11月16日	11,681	0.1	19,990	2.3	90.2	—
第75期	(期首) 2020年11月16日	11,481	—	19,990	—	90.2	—
	11月末	11,539	0.5	20,146	0.8	91.0	—
	(期末) 2020年12月15日	11,645	1.4	20,259	1.3	91.3	—

(注) 各期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

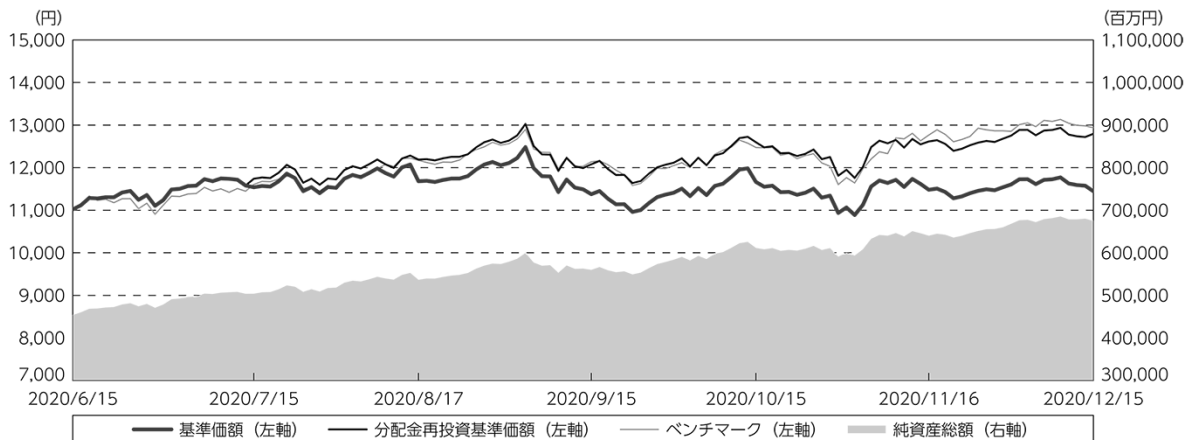
(注) 月末は、各月の最終営業日です。

運用経過

アラライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし）予想分配金提示型（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

作成期間中の基準価額等の推移

（2020年6月16日～2020年12月15日）



第70期首：11,019円

第75期末：11,445円（既払分配金（税込み）：1,300円）

騰落率：16.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首（2020年6月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) ベンチマークは、S & P 500株価指数（配当金込み、円ベース）です。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前作成期末比+16.1%※と、ベンチマークであるS & P 500株価指数（配当金込み、円ベース）の同+17.4%を下回るパフォーマンスとなりました。

※基準価額の騰落率は、各決算期末の税込み分配金を当概決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の変動要因

上昇要因

保有する情報技術関連銘柄やコミュニケーション・サービス関連銘柄、一般消費財・サービス関連銘柄などの株価上昇

下落要因

保有するヘルスケア関連の一部の銘柄の株価下落
円高ドル安となったこと

投資環境

(2020年6月16日～2020年12月15日)

【株式市場】

当作成期の米国株式市場は、前作成期末比で上昇しました。

当作成期初は、新型コロナウイルスの感染拡大第2波を巡る懸念から下落しましたが、その後2020年8月末にかけては、追加の新型コロナウイルス経済対策への期待や米国企業の好決算、米連邦準備理事会（FRB）の長期にわたる金融緩和姿勢などが好感され、上昇基調で推移しました。しかし9月に入ると、高値警戒感からハイテク株中心に売られたことや、都市封鎖の再導入や高止まりする新規失業保険申請件数などが嫌気され、大幅な下落となりました。9月下旬以降は、追加の新型コロナウイルス経済対策導入への期待感から反発したものの、10月中旬以降は、大統領選挙への不透明感が高まる中、追加経済対策実現観測が後退したことや、欧米での新型コロナウイルス感染再拡大が嫌気され、再び下落しました。しかし11月に入り、大統領選挙でのバイデン氏優勢が好感されたことや、米製薬大手が開発を進める新型コロナウイルスワクチンで9割超の有効性が確認されたとの報道を受け、株式市場は大きく反発し、当作成期末にかけても上昇基調で推移しました。

【為替市場】

為替市場は、前作成期末は1ドル＝107円台でしたが、米国の経済指標の改善を受けて108台までドルが買われた後、米連邦公開市場委員会（FOMC）で2022年末までゼロ金利を据え置く方針が示されたことや、米国の2020年4-6月期国内総生産（GDP）速報値が過去最大の減少幅を記録したことなどから円高ドル安が進み、7月末は104円台となりました。その後は、堅調な米国株式市場を背景に107円近くまで円安ドル高が進みましたが、8月半ば以降は再び円高ドル安基調となり、当作成期末は、1ドル＝104円台となりました。

運用概況

（2020年6月16日～2020年12月15日）

<当ファンド>

当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。） 受益証券への投資を通じて、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式へ投資することにより、信託財産の成長を目指します。

当ファンドは、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

<マザーファンド>

ボトムアップによるファンダメンタル分析を行い、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄を厳選します。運用にあたっては、利益成長や高い収益性など、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

その結果、セクター配分においては、情報技術セクターやコミュニケーション・サービス・セクターの組入比率が上昇した一方、ヘルスケア・セクターや一般消費財・サービス・セクターの組入比率が低下しました。

<マザーファンドのセクター別組入比率>

前作成期末（2020年6月15日現在）

セクター	比率
情報技術	27.6%
ヘルスケア	24.0%
コミュニケーション・サービス	14.8%
一般消費財・サービス	14.1%
生活必需品	5.3%
その他	6.3%
現金等	7.8%



当作成期末（2020年12月15日現在）

セクター	比率
情報技術	29.7%
ヘルスケア	22.8%
コミュニケーション・サービス	15.3%
一般消費財・サービス	13.1%
生活必需品	5.3%
その他	5.9%
現金等	7.9%

（注）組入比率はアライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。

個別銘柄では、フォーティネットを新規に組み入れました。インターネットゲートウェイに必要なセキュリティ管理ツールを提供する会社については、長期的な成長への確信度が増えています。また、マイクロソフトを買い増しました。新型コロナウイルスの影響で在宅勤務ニーズが高まる中、同社が推進するデジタルトランスフォーメーション（デジタル化に対応するための変革）を高く評価しています。さらに、コミュニケーション・サービス・セクター全体の株価調整で割安感が高まったと判断したアルファベットも買い増しました。

一方、ストライカーを全て売却しました。ロボット式整形外科システムなど特殊な手術用および医療製品の開発・製造・販売会社である同社は、同業他社の買収によりファンダメンタルズ悪化の懸念が高まったことや、新型コロナウイルスの影響による需要低迷を受けていることを勘案しました。スラック・テクノロジーも全て売却しました。ビジネス用のチャットツールを提供する会社は、CRM（顧客管理）ソフトウェア会社のセールスフォース・ドットコムによる買収報道を受けて、株価が大幅に上昇したことから利益を確定しました。

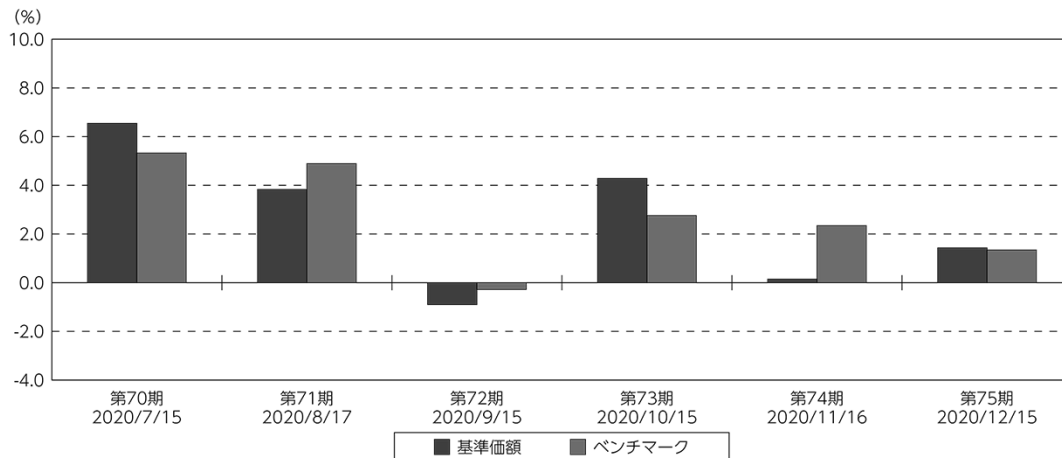
株式の組入比率は当作成期間を通じて高い水準を維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年6月16日～2020年12月15日)

ベンチマークとの比較では、ヘルスケア・セクターのオーバーウェイト、資本財・サービス・セクターおよび情報技術セクターにおける銘柄選択が主なマイナス要因となりました。一方、ヘルスケア・セクターにおける銘柄選択や、公益事業セクターおよび不動産セクターを保有していなかったことなどはプラス寄与となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、S & P 500株価指数（配当金込み、円ベース）です。

分配金

(2020年6月16日～2020年12月15日)

当作成期間の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定しました。各決算期の分配金については、以下をご覧ください（当作成期間合計：1,300円）。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期
	2020年6月16日～ 2020年7月15日	2020年7月16日～ 2020年8月17日	2020年8月18日～ 2020年9月15日	2020年9月16日～ 2020年10月15日	2020年10月16日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月15日
当期分配金	200	300	200	200	200	200
(対基準価額比率)	1.704%	2.504%	1.728%	1.686%	1.712%	1.717%
当期の収益	200	300	—	200	34	160
当期の収益以外	—	—	200	—	165	39
翌期繰越分配対象額	1,539	1,681	1,377	1,663	1,480	1,445

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

米国株式市場は、当面はボラティリティが高まる可能性があると考えていますが、新型コロナウイルスの影響が徐々に収束に向かえば、ペントアップディマンド（繰返し需要）や、矢継ぎ早に打ち出される財政政策、緩和的な金融政策などにより、経済の回復が見込まれます。また、2021年以降は、増益基調に回復すると予想されている企業業績も株式市場の下支えになると考えます。

そうした環境下、マザーファンドでは、“持続的な成長企業”を組み入れることで、下落相場でも強い耐性を発揮し、長期的に市場をアウトパフォーム出来るようなポートフォリオ構築に注力しています。引き続き安定した収益性の高さを維持するとともに、総資産利益率や予想利益成長率が高く、長期的成長が期待される企業に注目してまいります。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2020年6月16日～2020年12月15日)

項 目	第70期～第75期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	99	0.866	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(47)	(0.414)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(47)	(0.414)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.039)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(0)	(0.003)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	1	0.004	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合 計	100	0.873	
作成期間中の平均基準価額は、11,465円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

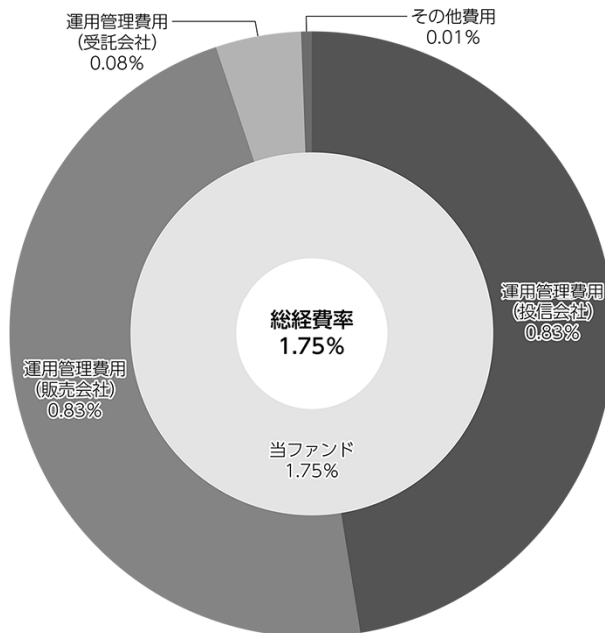
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成対象期間の平均受益権口数に作成対象期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年6月16日～2020年12月15日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第70期～第75期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アラライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド	49,109,377	229,456,391	20,361,925	96,824,000

（注）単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

（2020年6月16日～2020年12月15日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第70期～第75期	
	アラライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	419,832,675千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	988,715,157千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.42	

（注）株式売買金額は、受け渡し代金。

（注）平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2020年6月16日～2020年12月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年12月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第69期末		第75期末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド	千口 106,707,093	千口 135,454,545	千円 668,752,635	千円 668,752,635

(注) 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年12月15日現在)

項 目	第75期末	
	評 価 額	比 率
アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド	千円 668,752,635	% 97.2
コール・ローン等、その他	19,300,636	2.8
投資信託財産総額	688,053,271	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドにおいて、第75期末における外貨建純資産（1,327,803,335千円）の投資信託財産総額（1,352,956,515千円）に対する比率は98.1%です。

(注) 外貨建資産は、第75期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=104.12円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第70期末	第71期末	第72期末	第73期末	第74期末	第75期末
	2020年7月15日現在	2020年8月17日現在	2020年9月15日現在	2020年10月15日現在	2020年11月16日現在	2020年12月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	514,018,182,300	551,836,079,566	570,824,712,691	623,158,792,307	652,844,233,282	688,053,271,178
コール・ローン等	838,557,394	691,801,881	383,866,293	506,290,669	686,059,050	690,135,217
アライアンス・バーンスタイン・米国大型 グロース株マザーファンド(評価額)	499,378,524,906	536,528,277,685	554,887,746,398	606,089,201,638	634,478,174,232	668,752,635,961
未収入金	13,801,100,000	14,616,000,000	15,553,100,000	16,563,300,000	17,680,000,000	18,610,500,000
(B) 負債	10,261,123,266	15,294,558,391	10,999,873,703	11,810,295,648	12,774,497,406	13,388,987,339
未払収益分配金	8,730,931,693	13,778,749,426	9,841,305,034	10,482,960,322	11,150,339,480	11,789,339,388
未払解約金	838,511,267	691,748,405	383,819,293	506,229,111	685,987,824	690,071,218
未払信託報酬	689,681,603	821,680,131	772,958,097	819,207,580	936,000,462	907,473,384
未払利息	1,952	1,516	999	1,234	1,729	1,512
その他未払費用	1,996,751	2,378,913	1,790,280	1,897,401	2,167,911	2,101,837
(C) 純資産総額(A-B)	503,757,059,034	536,541,521,175	559,824,838,988	611,348,496,659	640,069,735,876	674,664,283,839
元本	436,546,584,666	459,291,647,561	492,065,251,744	524,148,016,143	557,516,974,046	589,466,969,428
次期繰越損益金	67,210,474,368	77,249,873,614	67,759,587,244	87,200,480,516	82,552,761,830	85,197,314,411
(D) 受益権総口数	436,546,584,666口	459,291,647,561口	492,065,251,744口	524,148,016,143口	557,516,974,046口	589,466,969,428口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,540円	11,682円	11,377円	11,664円	11,481円	11,445円

(注) 第70期首元本額411,709,824,284円、第70～75期中追加設定元本額216,197,022,289円、第70～75期中一部解約元本額38,439,877,145円。第75期末現在における1口当たり純資産額1.1445円。

○損益の状況

項 目	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期
	2020年6月16日～ 2020年7月15日	2020年7月16日～ 2020年8月17日	2020年8月18日～ 2020年9月15日	2020年9月16日～ 2020年10月15日	2020年10月16日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 60,795	△ 61,124	△ 51,911	△ 30,816	△ 54,771	△ 52,118
支払利息	△ 60,795	△ 61,124	△ 51,911	△ 30,816	△ 54,771	△ 52,118
(B) 有価証券売買損益	30,862,893,406	20,667,545,562	△ 4,924,165,634	26,259,805,411	2,851,545,055	10,383,982,403
売買益	31,222,177,179	20,793,510,564	15,876,311	26,312,343,011	2,854,853,147	10,441,472,940
売買損	△ 359,283,773	△ 125,965,002	△ 4,940,041,945	△ 52,537,600	△ 3,308,092	△ 57,490,537
(C) 信託報酬等	△ 691,678,354	△ 824,059,044	△ 774,748,377	△ 821,104,981	△ 938,168,373	△ 909,575,221
(D) 当期損益金 (A+B+C)	30,171,154,257	19,843,425,394	△ 5,698,965,922	25,438,669,614	1,913,321,911	9,474,355,064
(E) 前期繰越損益金	21,391,116,710	42,115,264,024	47,571,363,280	31,789,512,861	46,204,257,449	36,572,337,075
(F) 追加信託差損益金	24,379,135,094	29,069,933,622	35,728,494,920	40,455,258,363	45,585,521,950	50,939,961,660
(配当等相当額)	(13,297,528,049)	(16,943,370,272)	(22,203,290,707)	(26,410,682,164)	(31,610,127,903)	(35,941,520,846)
(売買損益相当額)	(11,081,607,045)	(12,126,563,350)	(13,525,204,213)	(14,044,576,199)	(13,975,394,047)	(14,998,440,814)
(G) 計 (D+E+F)	75,941,406,061	91,028,623,040	77,600,892,278	97,683,440,838	93,703,101,310	96,986,653,799
(H) 収益分配金	△ 8,730,931,693	△ 13,778,749,426	△ 9,841,305,034	△ 10,482,960,322	△ 11,150,339,480	△ 11,789,339,388
次期繰越損益金 (G+H)	67,210,474,368	77,249,873,614	67,759,587,244	87,200,480,516	82,552,761,830	85,197,314,411
追加信託差損益金	24,379,135,094	29,069,933,622	35,728,494,920	40,455,258,363	45,585,521,950	50,939,961,660
(配当等相当額)	(13,302,586,649)	(16,947,424,504)	(22,217,530,250)	(26,411,793,934)	(31,616,274,443)	(35,969,871,427)
(売買損益相当額)	(11,076,548,445)	(12,122,509,118)	(13,510,964,670)	(14,043,464,429)	(13,969,247,507)	(14,970,090,233)
分配準備積立金	42,831,339,274	48,179,939,992	37,730,058,246	46,745,222,153	36,967,239,880	34,257,352,751
繰越損益金	-	-	△ 5,698,965,922	-	-	-

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第70期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (117,367,134円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (30,053,787,123円)、収益調整金額 (24,379,135,094円) および分配準備積立金額 (21,391,116,710円) より分配対象収益額は75,941,406,061円 (10,000口当たり1,739円) であり、うち8,730,931,693円 (10,000口当たり200円) を分配金額としております。

(注) 第71期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (118,685,215円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (19,724,740,179円)、収益調整金額 (29,069,933,622円) および分配準備積立金額 (42,115,264,024円) より分配対象収益額は91,028,623,040円 (10,000口当たり1,981円) であり、うち13,778,749,426円 (10,000口当たり300円) を分配金額としております。

(注) 第72期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (0円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (0円)、収益調整金額 (30,029,528,998円) および分配準備積立金額 (47,571,363,280円) より分配対象収益額は77,600,892,278円 (10,000口当たり1,577円) であり、うち9,841,305,034円 (10,000口当たり200円) を分配金額としております。

(注) 第73期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (30,838,680円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (19,751,846,785円)、収益調整金額 (40,455,258,363円) および分配準備積立金額 (37,445,497,010円) より分配対象収益額は97,683,440,838円 (10,000口当たり1,863円) であり、うち10,482,960,322円 (10,000口当たり200円) を分配金額としております。

(注) 第74期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (118,418,191円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (1,794,903,720円)、収益調整金額 (45,585,521,950円) および分配準備積立金額 (46,204,257,449円) より分配対象収益額は93,703,101,310円 (10,000口当たり1,680円) であり、うち11,150,339,480円 (10,000口当たり200円) を分配金額としております。

(注) 第75期計算期間末における費用控除後の配当等収益額 (740,988,263円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 (8,733,366,801円)、収益調整金額 (50,939,961,660円) および分配準備積立金額 (36,572,337,075円) より分配対象収益額は96,986,653,799円 (10,000口当たり1,645円) であり、うち11,789,339,388円 (10,000口当たり200円) を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期
1 万口当たり分配金（税込み）	200円	300円	200円	200円	200円	200円

★分配金の内訳、税金の取扱いは以下のとおりです。（各決算期ごとに計算されます。）

◇課税上の取扱い

①分配金の課税について

- ・分配金は「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に区分され、普通分配金に課税されます。
- ・分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本と同額または受益者の個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。ただし分配落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回り、かつ分配金と分配落ち後の基準価額を加えたものが受益者の個別元本と同額か下回る場合には、分配金の全額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

②個人の課税上の取扱い

- ・元本払戻金（特別分配金）：元本払戻金（特別分配金）は、お客様の取得元本の一部の払い戻しに当たるため、課税されません。
- ・普通分配金：個人の受益者の源泉徴収時には、配当所得として以下のように課税されます。
20.315%（所得税15.315%、地方税5%）
※法人の場合は上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。詳しくは販売会社へお問い合わせください。

※外国税額控除の適用となった場合には、普通分配金から源泉徴収される税額が上記と異なる場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご相談されることをお勧めします。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2020年12月15日現在）

<アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド>

下記は、アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド全体（266,474,194千口）の内容です。

外国株式

銘柄	第69期末		第75期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMETEK INC	3,478	3,784	44,014	4,582,746	資本財
AMPHENOL CORP-CL A	3,309	5,841	76,115	7,925,135	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ARISTA NETWORKS INC	2,849	1,772	48,645	5,064,945	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BURLINGTON STORES INC	3,165	3,042	70,136	7,302,645	小売
DOMINOS PIZZA INC	1,990	2,441	93,569	9,742,489	消費者サービス
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	23,386	26,937	225,117	23,439,236	ヘルスケア機器・サービス
EPAM SYSTEMS INC	-	540	17,581	1,830,574	ソフトウェア・サービス
HOME DEPOT INC	7,545	13,116	348,337	36,268,943	小売
IDEX CORP	1,683	2,316	44,632	4,647,184	資本財
METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL INC.	375	408	46,498	4,841,465	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MOTOROLA SOLUTIONS INC	2,728	4,373	72,565	7,555,565	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NIKE INC -CL B	18,642	24,385	332,324	34,601,669	耐久消費財・アパレル
PAYCOM SOFTWARE INC	1,527	1,417	60,391	6,287,930	ソフトウェア・サービス
ROPER TECHNOLOGIES INC	3,336	4,389	185,626	19,327,410	資本財
S&P GLOBAL INC	943	846	27,384	2,851,320	各種金融
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	2,348	2,554	183,643	19,120,927	素材
SLACK TECHNOLOGIES INC- CL A	12,028	-	-	-	ソフトウェア・サービス
STRYKER CORP	3,614	-	-	-	ヘルスケア機器・サービス
TJX COMPANIES INC	17,100	12,708	83,040	8,646,147	小売
TYLER TECHNOLOGIES INC	1,693	1,842	82,250	8,563,932	ソフトウェア・サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	11,983	17,817	598,911	62,358,654	ヘルスケア機器・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	3,421	3,938	104,270	10,856,685	ヘルスケア機器・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	18,602	26,970	558,963	58,199,269	ソフトウェア・サービス
ZOETIS INC	19,353	29,041	463,214	48,229,858	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALLEGION PLC	9,706	8,892	97,543	10,156,181	資本財
(アメリカ・・・店頭市場)					
ABIOMED INC	1,599	1,849	49,492	5,153,194	ヘルスケア機器・サービス
ADOBE INC	3,484	4,090	198,971	20,716,868	ソフトウェア・サービス
ALIGN TECHNOLOGY INC	3,620	3,938	198,617	20,680,048	ヘルスケア機器・サービス
ALPHABET INC-CL C	3,840	4,992	878,708	91,491,097	メディア・娯楽
AMAZON.COM INC	1,669	2,047	646,421	67,305,372	小売
ANSYS INC	1,031	1,122	38,548	4,013,682	ソフトウェア・サービス
BOOKING HOLDINGS INC	178	-	-	-	小売
COGNEX CORP	4,805	7,140	55,582	5,787,226	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COPART INC	6,603	13,233	156,544	16,299,439	商業・専門サービス
COSTCO WHOLESALE CORPORATION	4,201	6,472	242,330	25,231,457	食品・生活必需品小売り
ELECTRONIC ARTS INC	12,692	21,941	301,782	31,421,572	メディア・娯楽
ETSY INC	3,398	5,004	85,063	8,856,778	小売
EURONET WORLDWIDE INC	4,009	-	-	-	ソフトウェア・サービス
FACEBOOK INC-A	18,269	23,314	639,266	66,560,379	メディア・娯楽
FORTINET INC	-	12,946	169,200	17,617,147	ソフトウェア・サービス
IPG PHOTONICS CORP	2,826	5,343	111,745	11,634,936	テクノロジー・ハードウェアおよび機器

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信

銘柄	株数	株数	第75期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ・・・店頭市場)	百株	百株	千米ドル	千円	
IDEXX LABORATORIES INC	2,451	3,054	139,961	14,572,771	ヘルスケア機器・サービス
ILLUMINA INC	3,724	2,573	89,344	9,302,536	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	4,351	4,733	362,024	37,693,944	ヘルスケア機器・サービス
MICROSOFT CORP	31,484	43,067	922,510	96,051,755	ソフトウェア・サービス
MONSTER BEVERAGE CORP	43,028	47,709	421,845	43,922,557	食品・飲料・タバコ
NVIDIA CORP	2,396	3,259	173,496	18,064,409	半導体・半導体製造装置
PAYPAL HOLDINGS INC	15,244	15,674	346,073	36,033,130	ソフトウェア・サービス
QUALCOMM INC	7,901	22,554	329,955	34,354,949	半導体・半導体製造装置
REGENERON PHARMACEUTICALS	2,426	3,839	192,141	20,005,816	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SPLUNK INC	1,611	—	—	—	ソフトウェア・サービス
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE	3,715	5,944	116,039	12,082,039	メディア・娯楽
TEXAS INSTRUMENTS INC	2,153	3,500	56,054	5,836,426	半導体・半導体製造装置
ULTA BEAUTY INC	1,902	—	—	—	小売
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	9,190	18,254	416,446	43,360,435	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
XILINX INC	17,351	19,618	292,373	30,441,924	半導体・半導体製造装置
ASML HOLDING NV-NY REG SHS	2,132	3,106	140,716	14,651,434	半導体・半導体製造装置
合計	株数・金額	株数	11,636,037	1,211,544,255	
	銘柄数<比率>	55	51	—	<92.1%>

(注) 邦貨換算金額は、第75期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 一印は該当なし。



アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド

第22期(決算日2020年6月15日)

(計算期間：2019年6月18日～2020年6月15日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。
主要運用対象	米国を本拠地とする企業が発行する普通株式を主要投資対象とします。
組入制限	①株式への投資については、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資については、制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	騰落率	円	騰落率			
18期(2016年6月15日)	19,591	△12.3	416,089	△13.0	96.1	—	百万円 176,368
19期(2017年6月15日)	25,286	29.1	516,072	24.0	95.7	—	151,755
20期(2018年6月15日)	32,112	27.0	605,903	17.4	90.7	—	294,470
21期(2019年6月17日)	34,360	7.0	629,789	3.9	90.3	—	485,376
22期(2020年6月15日)	42,127	22.6	667,828	6.0	92.2	—	846,016

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	円	騰落率		
(期首) 2019年6月17日	34,360	—	629,789	—	90.3	—
6月末	34,706	1.0	633,175	0.5	90.0	—
7月末	36,234	5.5	658,245	4.5	89.8	—
8月末	34,941	1.7	627,438	△0.4	90.2	—
9月末	35,060	2.0	645,157	2.4	90.2	—
10月末	36,976	7.6	670,367	6.4	90.0	—
11月末	38,631	12.4	699,624	11.1	89.2	—
12月末	39,691	15.5	719,922	14.3	90.5	—
2020年1月末	40,354	17.4	727,269	15.5	89.5	—
2月末	37,934	10.4	663,219	5.3	89.6	—
3月末	35,537	3.4	582,719	△7.5	96.6	—
4月末	39,205	14.1	641,192	1.8	94.1	—
5月末	42,355	23.3	666,365	5.8	91.4	—
(期末) 2020年6月15日	42,127	22.6	667,828	6.0	92.2	—

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※参考指数について

当マザーファンドの参考指数はS & P500株価指数（配当金込み、円ベース）です。S & P500株価指数（配当金込み、円ベース）は、原則として基準価額計算日前日付のS & P500株価指数（配当金込み、米ドルベース）の値を、委託会社が計算日付の円ドル・レート（三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値）を用いて円換算したものです。

当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

運用経過

アラリアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2019年6月18日～2020年6月15日)

○基準価額等の推移

基準価額は前期末比+22.6%となりました。

○基準価額の主な変動要因

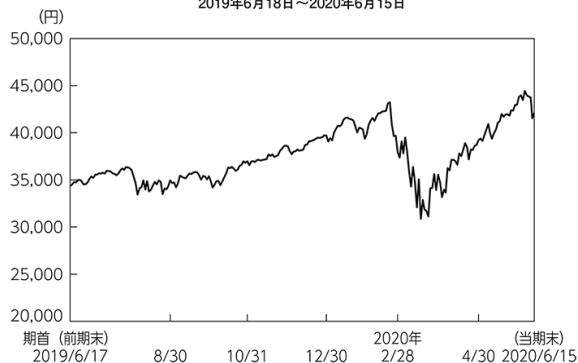
上昇要因

保有するヘルスケア関連や情報技術関連銘柄の株価上昇

下落要因

保有する一般消費財・サービス関連銘柄の株価下落
円高ドル安となったこと

当期中の基準価額の推移
2019年6月18日～2020年6月15日



当期中の参考指数の推移
2019年6月18日～2020年6月15日



*参考指数については前ページ「※参考指数について」をご参照ください。

投資環境

(2019年6月18日～2020年6月15日)

【株式市場】

当期の米国株式市場は、前期末比で上昇しました。

期初から2020年2月中旬にかけては、上昇基調で推移しました。米中貿易摩擦の激化や、12年ぶりの米国債の長短金利逆転を受けた景気後退懸念の高まりなどから下落する場面もありましたが、米連邦公開市場委員会（FOMC）による予防措置としての金融緩和や、米中通商協議「第一段階」における合意、さらには好調な米国企業の決算発表などを背景に上昇し、S & P 500種株価指数は史上最高値を断続的に更新しました。しかし2月下旬以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けた経済活動の停滞への警戒から、投資家のリスク回避姿勢が一気に広まり、歴史的な大暴落となりました。3月下旬には、大規模経済対策や未曾有の金融緩和を下支えに株式市場は上反発し、その後期末にかけても、株価は上昇基調を維持しました。新型コロナウイルス第2波への警戒や、長期にわたる米国経済低迷への懸念は重しとなったものの、経済再開に向けた都市封鎖措置緩和の動きや新型コロナウイルスのワクチン開発などが好感されました。

【為替市場】

為替市場は、前期末は1ドル＝108円台でしたが、トランプ米国大統領による対中追加関税表明に端を発した株価下落を背景に、2019年8月中旬には105円台まで円高ドル安が進みました。その後は、米中通商協議をめぐる投資家心理の改善に後押しされて、堅調に推移する株式市場を背景に円安ドル高基調となり、日本の景気減速を意識した円売りも相まって2020年2月下旬には112円までドルが買われました。しかし3月上旬には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に安全通貨とされる円が買われ、102円台まで急速に円高ドル安が進みました。その後3月下旬には、111円台までドルが買い戻されました。4月以降は、米中対立の深刻化を受けて、106円台まで円高ドル安が進む場面もありましたが、投資家心理の改善とともに再びドルが買われ、6月上旬には109円台となりました。その後、FOMCで2022年末までゼロ金利政策の維持が示唆されたことでドルが売られ、当期末は、1ドル＝107円台となりました。

運用概況

(2019年6月18日～2020年6月15日)

当マザーファンドは、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式へ投資することにより、信託財産の成長を目指します。

ボトムアップによるファンダメンタル分析を行い、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄を厳選します。運用にあたっては、利益成長や高い収益性など、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

その結果、セクター配分においては、情報技術セクターやヘルスケア・セクターの組入比率が上昇した一方、生活必需品セクターの組入比率が低下しました。

個別銘柄では、eコマースにおける世界的なリーディングカンパニーであるアマゾンを新規に買い付けたほか、ソフトウェア開発・販売のマイクロソフトなどを買い増しました。一方、オンライン旅行会社のブッキング・ホールディングスなどを一部売却したほか、PCおよびモバイル通信機器メーカーのアップルや、バイオ医薬品企業のバイオジェンを全て売却しました。

<セクター別組入比率>

前期末 (2019年6月17日現在)

セクター	比率
ヘルスケア	22.6%
情報技術	22.2%
一般消費財・サービス	14.3%
コミュニケーション・サービス	13.9%
生活必需品	7.3%
その他	10.0%
現金等	9.7%



当期末 (2020年6月15日現在)

セクター	比率
情報技術	27.6%
ヘルスケア	24.0%
コミュニケーション・サービス	14.8%
一般消費財・サービス	14.1%
生活必需品	5.3%
その他	6.3%
現金等	7.8%

(注) 組入比率はアラリアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

今後の運用方針

米国株式市場は、米中間の緊張の高まりにもかかわらず、経済活動再開への楽観的な見通しに支えられ、大きく上昇しました。新型コロナウイルス抑制策が緩和される中での正常化までのペースや、所得や需要の喪失による副次的な影響など、不透明な見通しが続くことが予想されます。

そうした環境下、当マザーファンドでは、“持続的な成長企業”を組み入れることで、下落相場でも強い耐性を発揮し、長期的に市場をアウトパフォーム出来るようなポートフォリオ構築に注力しています。引き続き安定した収益性の高さを維持するとともに、総資産利益率や予想利益成長率が高く、長期的成長が期待される企業に注目してまいります。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年6月18日～2020年6月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 3 (3)	% 0.008 (0.008)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	6	0.016	
期中の平均基準価額は、37,635円です。			

(注) 期中の費用(消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2019年6月18日～2020年6月15日)

株式

外 国	買 付	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
アメリカ	百株 231,188 (15,590)	千米ドル 3,671,687 ()	百株 106,375	千米ドル 1,761,525	

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使(株式転換)、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

○株式売買比率

(2019年6月18日～2020年6月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	590,078,815千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	590,188,191千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.99

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額(外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額)の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年6月18日～2020年6月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年6月15日現在)

外国株式

銘柄	株数	当 期		期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ…ニューヨーク市場)	百株	百株	千米ドル	千円		
AMETEK INC	3,499	3,478	30,495	3,270,329		資本財
AMPHENOL CORP-CL A	2,378	3,309	31,439	3,371,548		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ARISTA NETWORKS INC	3,208	2,849	63,484	6,808,125		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BURLINGTON STORES INC	4,031	3,165	64,417	6,908,105		小売
CONSTELLATION BRANDS INC-A	1,616	—	—	—		食品・飲料・タバコ
DOMINOS PIZZA INC	—	1,990	75,251	8,070,008		消費者サービス
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	6,030	23,386	158,979	17,048,949		ヘルスケア機器・サービス
HOME DEPOT INC	7,754	7,545	182,931	19,617,567		小売
IDEX CORP	1,422	1,683	25,684	2,754,428		資本財
METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL INC.	375	375	28,684	3,076,164		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MOTOROLA SOLUTIONS INC	—	2,728	38,359	4,113,640		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NIKE INC -CL B	12,782	18,642	179,773	19,278,856		耐久消費財・アパレル
PAYCOM SOFTWARE INC	768	1,527	46,263	4,961,276		ソフトウェア・サービス
ROPER TECHNOLOGIES INC	1,430	3,336	130,066	13,948,356		資本財
S&P GLOBAL INC	769	943	29,892	3,205,675		各種金融
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	2,430	2,348	128,618	13,793,038		素材
SLACK TECHNOLOGIES INC- CL A	—	12,028	37,121	3,980,865		ソフトウェア・サービス
SMITH (A.O.) CORP	7,177	—	—	—		資本財
STRYKER CORP	3,757	3,614	67,880	7,279,519		ヘルスケア機器・サービス
TJX COMPANIES INC	13,673	17,100	89,706	9,620,158		小売
TYLER TECHNOLOGIES INC	—	1,693	58,029	6,223,106		ソフトウェア・サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	9,400	11,983	341,699	36,643,856		ヘルスケア機器・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	645	3,421	74,146	7,951,434		ヘルスケア機器・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	13,508	18,602	357,657	38,355,162		ソフトウェア・サービス
ZOETIS INC	15,799	19,353	259,468	27,825,386		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALLEGION PLC	7,124	9,706	99,405	10,660,234		資本財
(アメリカ…店頭市場)						
ABIOMED INC	—	1,599	38,651	4,145,001		ヘルスケア機器・サービス
ADOBE INC	2,080	3,484	141,675	15,193,327		ソフトウェア・サービス
ALIGN TECHNOLOGY INC	—	3,620	91,014	9,760,378		ヘルスケア機器・サービス
ALPHABET INC-CL C	2,828	3,840	542,687	58,197,857		メディア・娯楽
AMAZON.COM INC	—	1,669	424,865	45,562,591		小売
ANSYS INC	109	1,031	27,886	2,990,514		ソフトウェア・サービス
APPLE INC	3,378	—	—	—		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BIOGEN INC	1,663	—	—	—		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BOOKING HOLDINGS INC	824	178	29,006	3,110,652		小売
COGNEX CORP	3,358	4,805	26,509	2,842,850		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COPART INC	9,365	6,603	56,156	6,022,259		商業・専門サービス
COSTCO WHOLESALE CORPORATION	5,039	4,201	125,497	13,458,331		食品・生活必需品小売り
ELECTRONIC ARTS INC	8,993	12,692	154,815	16,602,419		メディア・娯楽
ETSY INC	—	3,398	27,108	2,907,150		小売
EURONET WORLDWIDE INC	—	4,009	41,821	4,484,980		ソフトウェア・サービス
FACEBOOK INC-A	12,600	18,269	417,602	44,783,657		メディア・娯楽
FASTENAL CO	4,723	—	—	—		資本財
IPG PHOTONICS CORP	1,190	2,826	44,130	4,732,602		テクノロジー・ハードウェアおよび機器

アラライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ…店頭市場)	百株	百株	千米ドル	千円		
IDEXX LABORATORIES INC	—	2,451	74,247	7,962,307	ヘルスケア機器・サービス	
ILLUMINA INC	808	3,724	127,234	13,644,611	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INTUITIVE SURGICAL INC	2,416	4,351	242,972	26,056,318	ヘルスケア機器・サービス	
MARKETAXESS HOLDINGS INC	508	—	—	—	各種金融	
MICROSOFT CORP	20,881	31,484	591,088	63,388,290	ソフトウェア・サービス	
MONSTER BEVERAGE CORP	26,575	43,028	293,886	31,516,336	食品・飲料・タバコ	
NVIDIA CORP	—	2,396	85,621	9,182,097	半導体・半導体製造装置	
PAYPAL HOLDINGS INC	10,386	15,244	236,680	25,381,568	ソフトウェア・サービス	
QUALCOMM INC	—	7,901	67,356	7,223,299	半導体・半導体製造装置	
REGENERON PHARMACEUTICALS	2,483	2,426	142,791	15,312,977	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SPLUNK INC	—	1,611	28,820	3,090,741	ソフトウェア・サービス	
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE	—	3,715	49,785	5,338,974	メディア・娯楽	
TEXAS INSTRUMENTS INC	1,425	2,153	26,691	2,862,448	半導体・半導体製造装置	
ULTA BEAUTY INC	2,432	1,902	43,112	4,623,433	小売	
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	6,920	9,190	246,830	26,470,136	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
XILINX INC	6,305	17,351	157,381	16,877,548	半導体・半導体製造装置	
ASML HOLDING NV-NY REG SHS	822	2,132	73,152	7,844,907	半導体・半導体製造装置	
合 計	株 数	金 額	257,709	398,113	7,276,542	780,336,370
	銘柄 数 < 比 率 >		47	55	—	<92.2%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 一印は該当なし。

○投資信託財産の構成

(2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円	%
	780,336,370	89.7
コール・ローン等、その他	90,076,225	10.3
投資信託財産総額	870,412,595	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(862,936,908千円)の投資信託財産総額(870,412,595千円)に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=107.24円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	870,412,595,230	
コール・ローン等	89,624,947,674	
株式(評価額)	780,336,370,471	
未収入金	219,289,582	
未収配当金	231,987,503	
(B) 負債	24,396,335,821	
未払金	2,391,876,072	
未払解約金	22,004,450,000	
未払利息	9,749	
(C) 純資産総額(A-B)	846,016,259,409	
元本	200,824,633,984	
次期繰越損益金	645,191,625,425	
(D) 受益権総口数	200,824,633,984口	
1万口当たり基準価額(C/D)	42,127円	

(注) 期首元本額141,262,466,923円、期中追加設定元本額96,775,133,500円、期中一部解約元本額37,212,966,439円。当期末現在における1口当たり純資産額4,2127円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているベビーフンドの組入元本額の内訳は、下記のとおりです。

<組入元本額の内訳>

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Aコース(為替ヘッジあり)	13,084,827,612円
アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	34,469,314,162円
アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	46,075,564,865円
アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	106,707,093,951円
アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	487,833,394円

○お知らせ

2019年6月18日以降において、当マザーファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

信託約款第4条(信託金の限度額)第1項中、「金1兆円」とあるのを「金2兆円」に変更しました。

(変更日:2020年2月21日)

○損益の状況 (2019年6月18日~2020年6月15日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	3,393,623,012	
受取配当金	2,901,228,409	
受取利息	496,507,383	
支払利息	△ 4,112,780	
(B) 有価証券売買損益	134,504,354,201	
売買益	161,101,541,304	
売買損	△ 26,597,187,103	
(C) 保管費用等	△ 45,780,469	
(D) 当期損益金(A+B+C)	137,852,196,744	
(E) 前期繰越損益金	344,114,478,373	
(F) 追加信託差損益金	270,040,671,032	
(G) 解約差損益金	△106,815,720,724	
(H) 計(D+E+F+G)	645,191,625,425	
次期繰越損益金(H)	645,191,625,425	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。